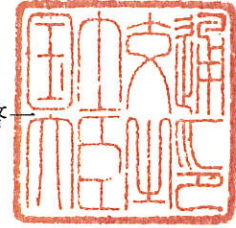


# 認 定 書

国住指第 102 号  
平成 30 年 5 月 10 日

因幡電機産業株式会社  
代表取締役社長 守谷 承弘 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-0989
2. 認定をした構造方法等の名称  
被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／化粧材付グラファイト混入無機質充てんシート・セメントモルタル充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／化粧材付グラファイト混入無機質充てんシート・セメントモルタル充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

## 2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形 (φ240mm 以下) (配管外径が 114 mm 以下 (熱膨張性シートを使用しない) の場合 φ183 mm 以下)
	面積	0.0453m <sup>2</sup> 以下
占積率 (開口面積に対する配管の 断面積の総合計の割合)		47.3% 以下
貫通する壁の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 100mm 以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様		
熱膨張性シート		材料	化粧材付グラファイト混入無機質充てんシート (ただし、配管外径が114mmを超えた場合に使用)	
		寸法	総厚さ：3.0mm以上 幅：40mm以上	
		設置箇所	被覆材に巻き付け(片側)	
	化粧材1	材料	あり又はなし ①～③のー ①ポリオレフィン系繊維強化アルミニウム系テープ ②アルミニウム系テープ ③ガラス繊維強化アルミニウム系テープ	
		厚さ	0.2mm以下	
	化粧材2 (被覆材側)	材料	あり又はなし ポリオレフィン系フィルム	
		厚さ	25μm以下	
	シート	材料	熱膨張黒鉛含有ブチルゴム	
		厚さ	3.0mm以上	
	被覆材		材料	ポリオレフィン系樹脂不織布付軟質塩化ビニル樹脂シート・PETフェルト
寸法			厚さ：14.2mm以下 被覆長さ：300mm以上	
表面材		①	材料	ポリオレフィン系樹脂不織布付軟質塩化ビニル樹脂シート
			質量	
		②	材料	軟質塩化ビニル樹脂シート
			組成 (質量%)	
			厚さ	2.2mm以下
			密度	
基材		材料	PETフェルト	
		組成 (質量%)		
	厚さ	12mm以下		
	密度			
充てん材	材料	セメントモルタル		
	組成 (質量%)			
	使用箇所 (使用量)	壁と配管の隙間 (壁厚方向100mm以上密に充てん)		

表3 配管の仕様

項目	仕様				
配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776 (VP管、HIVP管、HT管))	外径	165mm以下	厚さ	9.6mm以下

## 4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

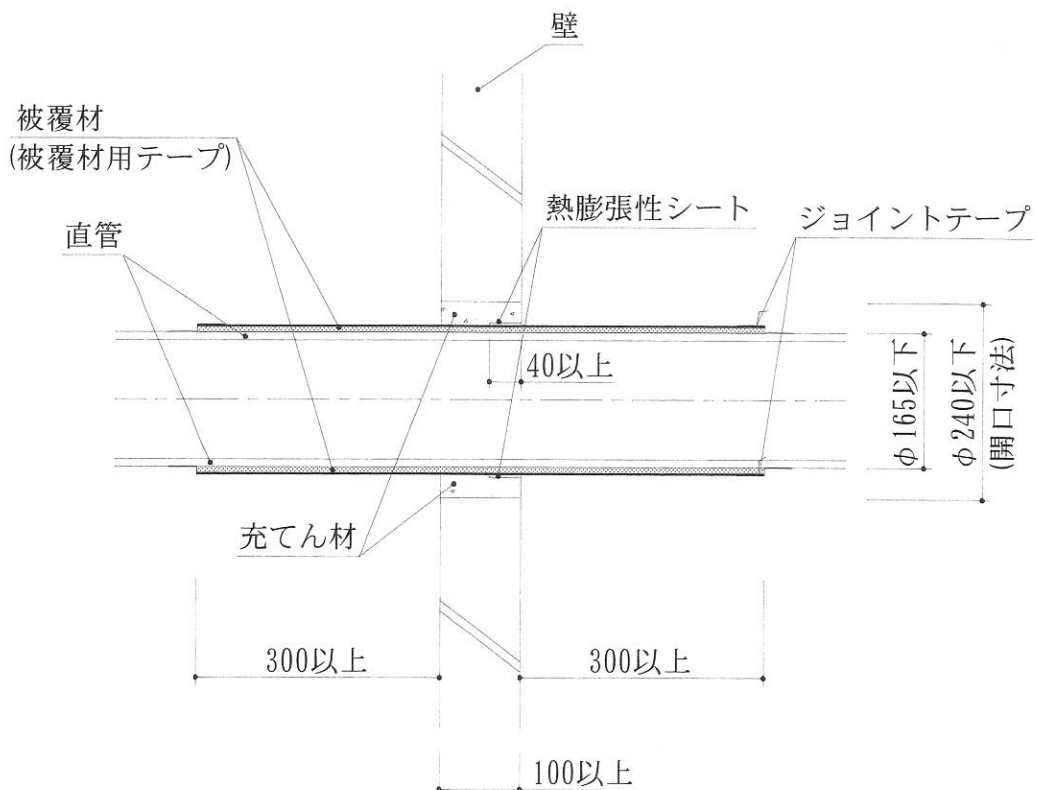
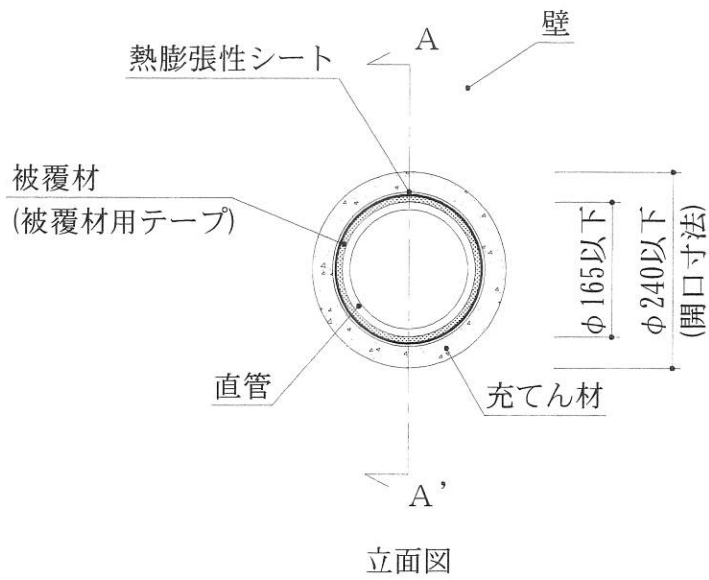
項目	仕様	
ジョイントテープ	材料	
	寸法	幅：76mm以下
	使用箇所	被覆材と配管の端部、被覆材同士
被覆材用テープ	材料	
	寸法	幅：76mm以下
	使用箇所	被覆材の円筒状への貼り合わせに使用

## 5. 構造説明図：

構造説明図を図1及び図2に示す

5. 構造説明図：  
 構造説明図を図1及び図2に示す。

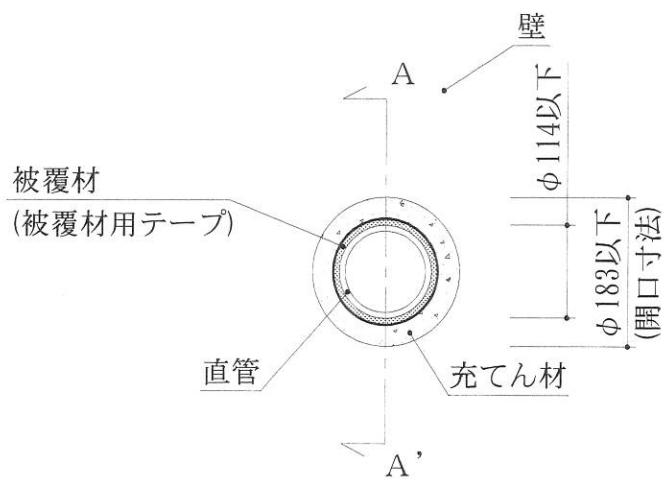
単位 mm



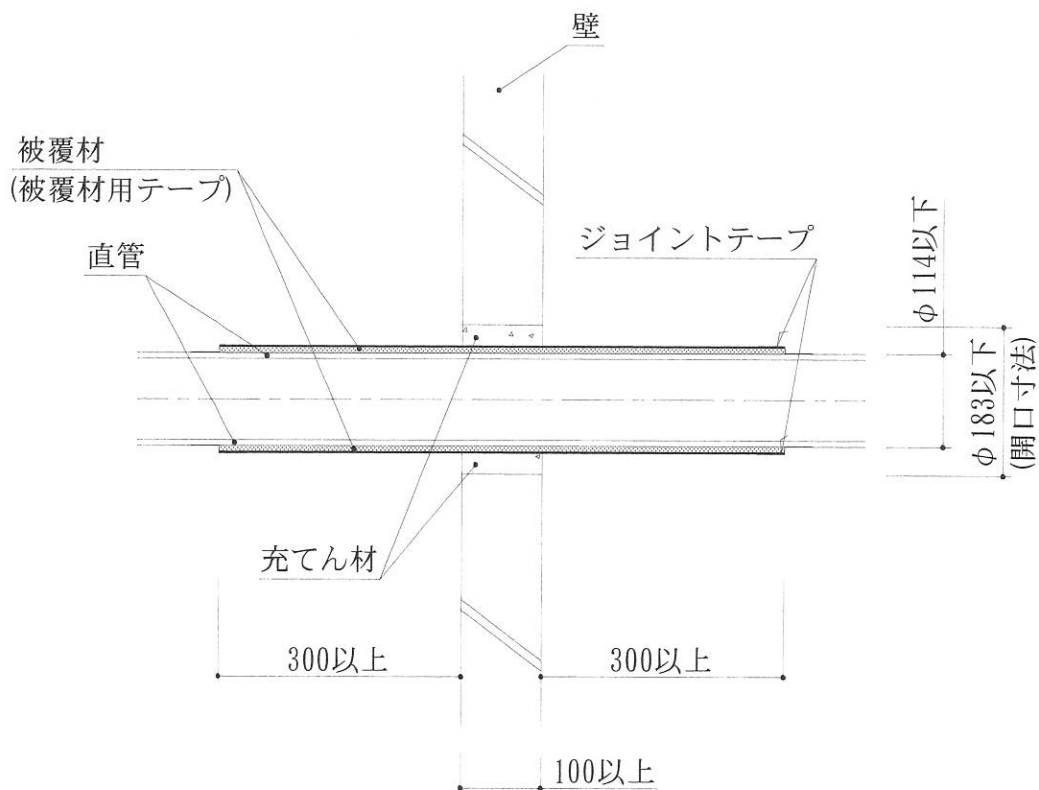
(配管外径:114mmを超える場合、熱膨張性シートあり)

図1 構造説明図 (施工図)

単位 mm



立面図



A-A' 断面図

(配管外径:114mm以下の場合、熱膨張性シートなし)

図2 構造説明図 (施工図)

6. 施工方法：

施工は、以下の手順で行う。

- (1) 貫通開口部の設定  
配管サイズ及び占積率を考慮して貫通開口部を設ける。
- (2) 配管の設置  
被覆材を予め使用する配管に挿入し、被覆材テープで支持・固定する。
- (3) テープ留め  
被覆材同士、被覆材と配管の間をジョイントテープ留めする。
- (4) 熱膨張材性シートの巻き付け  
配管外径が 114mm を超えた場合、熱膨張性シートを被覆材に 1 周以上巻き付け、片側に設置する。
- (5) 埋戻し  
セメントモルタルにて埋め戻し、隙間がないことを確認して仕上げる。